

## 津野 香奈美

### 2 学術論文

- 1) Ito Y, Ueyama J, Nakayama SF, Isobe T, Oya N, Sato H, Ebara T, Yoshimasu K, Tsuno K, Tatsuta N, Nakai, K, Kamijima M. Within-individual and interlaboratory variability analyses of urinary metabolites measurements of organophosphorus insecticides. *J Expo Sci Environ Epidemiol.* 2020;30(4):721-729.
- 2) Eskin M, Tran US, Carta M, Poyrazli S, Flood S, Mechri A, Shaheen A, Janghorbani M, Khader YS, Yoshimasu K, Sun JM, Kujan O, Abuidhail J, Aidoudi K, Bakhshi S, Harlak H, Moro M, Phillips L, Hamdan M, Abuderman A, Tsuno K, Voracek M. Is individualism suicidogenic? Findings from a multi-national study of young adults from 12 countries. *Frontiers in Psychiatry, section Public Mental Health.* 2020;11:259.
- 3) Iida M, Watanabe K, Ando E, Tsuno K, Inoue A, Kurioka S, Kawakami N. The Association between Unit-level Workplace Social Capital and Intention to Leave Among Employees in Health Care Settings: A Cross-sectional Multilevel Study. *J Occup Environ Med.* 2020;62(5):e186-e191.
- 4) Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Kawakami N. Workplace responses to COVID-19 associated with mental health and work performance of employees in Japan. *Journal of Occupational Health.* 2020;62(1):e12134.
- 5) Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Kawakami N. Workplace responses to COVID-19 and their association with company size and industry in an early stage of the epidemic in Japan. *Environmental and Occupational Health Practice.* 2020;2(1):1-9.
- 6) 松高由佳, 大塚泰正, 飯田順子, 藤圭, 津野香奈美, 島田恭子, 堀口康太, 遠藤寛子. 産業保健スタッフを対象とした性的マイノリティへの適切な対応を促進する研修プログラムの留意点に関する検討. *総合保健科学.* 2020;36:1-11.
- 7) Yaginuma-Sakurai K, Tsuno K, Yoshimasu K, Maeda T, Sano H, Goto M, Nakai K. Psychological Distress and Associated Factors among Japanese Nursery School and Kindergarten Teachers: A Cross-sectional Study. *Ind Health,* 2020;58:530-538.
- 8) Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Kawakami N. The deterioration of mental health among health care workers during the COVID-19 outbreak: a population-based cohort study of workers in Japan. *Scandinavian Journal of Work, Environment & Health,* 2020;46(6):639-644.
- 9) Takemura S, Yoshimasu K, Tsuno K, Kuroda M, Kishida K, Mitani T, Miyashita K. Potential hypotensive effects of *Umezu* polyphenols: a 14-week community-based double-masked placebo-controlled trial. *Blood Pressure Monitoring,* 2020;25(6):355-358.
- 10) Sakuraya A, Imamura K, Watanabe K, Asai Y, Ando E, Eguchi H, Nishida N, Kobayashi Y, Arima H, Iwanaga M, Otsuka Y, Sasaki N, Inoue A, Inoue R, Tsuno K, Hino A, Shimazu A, Tsutsumi A, Kawakami N. What kind of intervention is

effective for improving subjective well-being among workers? a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. *Frontiers in Psychology, section Health Psychology*. 2020;11:528656.

- 11) Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Kawakami N. Exposure to media and fear and worry about COVID-19. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 2020;74:501-502.
- 12) Kawakami N, Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Imamura K. Downloading a government-issued COVID-19 contact tracing app may improve psychological distress in the outbreak among employed adults: a prospective study. *JMIR Mental Health*. 2021;8(1):e23699.
- 13) Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Kawakami N. Deterioration in Mental Health Under Repeated COVID-19 Outbreaks Greatest in the Less Educated: A Cohort Study of Japanese Employees. *Journal of Epidemiology*. 2021;31(1):93-96.
- 14) Sasaki N, Imamura K, Nishi D, Watanabe K, Sekiya Y, Tsuno K, Kobayashi Y, Kawakami N. Internet-based acceptance and commitment therapy programme 'Happiness Mom' for well-being: a protocol for a randomised controlled trial. *BMJ Open*. 2021; 11(2) e042167.
- 15) 佐々木那津、津野香奈美、日高結衣、安藤絵美子、浅井裕美、櫻谷あすか、日野亜弥子、井上嶺子、今村幸太郎、渡辺和広、堤明純、川上憲人. 日本人女性労働者の就労上課題となる生物心理社会的な要因、制度利用状況、期待する職場での研究テーマのニーズ：患者・市民参画（PPI: Patient and Public Involvement）の枠組みを用いたインターネット調査による横断研究. *産業衛生学雑誌*. 2021.2.26 早期公開
- 16) Okubo R, Yoshioka T, Nakaya T, Hanibuchi T, Okano H, Ikezawa S, Tsuno K, Murayama H, Tabuchi T. Urbanization level and neighborhood deprivation, not COVID-19 case numbers by residence area, are associated with severe psychological distress and new-onset suicidal ideation during the COVID-19 pandemic. *Journal of Affective Disorders*. 2021;287:89-95.

### 3 その他の著作

- 1) 津野香奈美. 新しいハラスメント指針. *産業ストレス研究* 27(2) 285 - 285, 2020
- 2) 津野香奈美. 職場のいじめ・暴力・ハラスメント対策の課題と国際動向. *労働の科学* 75(4): 196-200, 2020
- 3) 津野香奈美. 【カウンセラーの「問う力・聴く力」】産業領域のハラスメント相談対応における問う力・聴く力. *臨床心理学* 20(4): 459-463, 2020
- 4) 津野香奈美. 教えて! 健康管理室のアライさん LGBTQ+従業員支援のための基礎知識(第4回) SOGI ハラって何ですか? *産業保健と看護* 12(5): 463-466, 2020
- 5) 津野香奈美. 【職場のメンタルヘルスに役立つ心理学アプローチ】知識編 概念と理論の正確な理解を目的として 職場の反社会的行動(いじめ・パワハラ)の行為者の特徴. *産業精神保健* 28(特別号): 61-67, 2020
- 6) 津野香奈美. メンタルヘルスとハラスメント予防. *ジュリスト* 1546: 14-20, 2020
- 7) 津野香奈美. パワハラ研究から見えてきた産業保健におけるパワハラ対策. *へるすあつぷ* 21, 11-13, 2020

- 8) 津野香奈美. 科学的根拠をもとに進めるメンタルヘルス対策とハラスメント対策 (6) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連のハラスメント. クオレ・シー・キューブ ハラスメント情報館 ハラスメント対策最前線, 2020  
[https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno\\_01\\_06.html](https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno_01_06.html)
- 9) 津野香奈美. 科学的根拠をもとに進めるメンタルヘルス対策とハラスメント対策 (7). オンライン上のいじめ・ハラスメント. クオレ・シー・キューブ ハラスメント情報館 ハラスメント対策最前線, 2020  
[https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno\\_01\\_07.html](https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno_01_07.html)
- 10) 津野香奈美. 科学的根拠をもとに進めるメンタルヘルス対策とハラスメント対策 (8). インシビリティ (人としての礼節の欠如) が職場に与える悪影響. クオレ・シー・キューブ ハラスメント情報館 ハラスメント対策最前線, 2021  
[https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno\\_01\\_08.html](https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno_01_08.html)
- 11) 津野香奈美. 【パワハラ対策の法制化で会社はどう変わるか 産業保健スタッフとハラスメント】総論 パワハラ防止法を理解しよう. 産業保健と看護 13(1), 6-11, 2021.
- 12) 小林 由佳, 井上 彰臣, 津野 香奈美, 櫻谷 あすか, 大塚 泰正, 江口 尚, 渡辺 和広. リーダーシップの理論と産業保健専門職のリーダーシップへの応用 文献レビュー. 産業医学レビュー 33(3): 225-250, 2021
- 13) 津野香奈美. 【いじめと精神医学】職場のいじめを発生させる組織要因と加害者要因. 精神医学 63(2): 177 - 186, 2021.

#### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 客員研究員 2013.8～現在
- 2) 日本産業カウンセラー協会 産業カウンセラー 2014.4～現在
- 3) 日本産業ストレス学会 理事・評議員 2014.11～現在
- 4) 日本産業ストレス学会 編集委員 2015.1～現在
- 5) 公益財団法人 21世紀職業財団 ハラスメント防止コンサルタント 2015.3～現在
- 6) 労働時間日本学会 理事 2016.6～現在
- 7) 日本行動医学会 理事 2016.7～現在
- 8) 日本行動医学会 編集委員 2016.7～現在
- 9) 日本行動医学会 将来構想委員会委員長 2016.7～2020.6
- 10) 日本産業衛生学会 代議員 2018.11～現在
- 11) 第27回日本行動医学会学術総会 大会準備委員 2019.4～2020.12
- 12) Journal of Occupational Health Associate Editor 2020.3～現在
- 13) 日本疫学会 疫学専門家 2020.3～現在
- 14) 日本産業衛生学会 編集委員 2020.4～現在
- 15) 厚生労働省「職場のハラスメントに関する実態調査」検討委員 2020.4～2021.3
- 16) 厚生労働省「中小企業におけるハラスメント相談体制実証事業」検討委員 2020.4～2021.3
- 17) 日本行動医学会 国際交流委員会委員長 2020.7～現在
- 18) 神奈川県立循環器呼吸器病センター 研究倫理審査委員 2020.9～2022.8
- 19) 神奈川県立循環器呼吸器病センター 倫理委員 2020.9～2023.3

## 20) 東京都港区 男女平等参画苦情処理委員 2020.9～2022.9

## 5 社会貢献

- 1) 厚生労働省「職場のハラスメントに関する実態調査」検討委員会において学識者として助言（通年）
- 2) 厚生労働省「中小企業におけるハラスメント相談体制実証事業」検討委員会において学識者として助言（通年）
- 3) 厚生労働省 過労死等防止対策推進シンポジウムへ登壇（2020年10～11月）
- 4) 神奈川県立循環器呼吸器病センターにおいて、研究倫理審査委員・倫理委員として臨床研究の研究倫理に対し指導・助言（通年）
- 5) 神奈川県 未病産業研究会で講義実施（2021年2月）
- 6) 神奈川県庁 セクシュアル・マイノリティ支援へ助言（通年）
- 7) 神奈川県労働福祉協会で研修を実施（2021年3月）
- 8) 地方公務員を対象とした講演・研修実施（通年）
- 9) ヘルスイノベーション政策センターの丸の内女子に関する調査研究に助言（通年）
- 10) 12か国の大学との自殺に関する国際共同研究実施（通年）
- 11) WHO、ILO との労働時間に関する国際共同研究実施（通年）
- 12) 東北大学、尚絅学院大学と保育士・栄養士のストレスに関する共同研究を実施（通年）
- 13) 筑波大学、比治山大学、東洋大学とセクシュアル・マイノリティ労働者に関する共同研究を実施（通年）
- 14) 大阪国際がんセンターと禁煙に関する共同研究（日本における社会と新型タバコに関するインターネット調査研究プロジェクト：The Japan “Society and New Tobacco” Internet Survey [JASTIS]）実施（通年）
- 15) 大阪国際がんセンター等とコロナ禍の一般住民を対象にした共同研究（日本におけるCOVID-19問題による社会・健康格差評価研究：The Japan COVID-19 and Society Internet Survey [JACSIS]）実施（通年）
- 16) 大阪国際がんセンター、筑波大学、東京大学等とコロナ禍の妊産婦に関する共同研究実施（通年）
- 17) 東京大学とコロナ禍の労働者に関する共同研究（新型コロナウイルス感染症に関わる全国労働者オンライン調査：The Employee Cohort Study in the Covid-19 pandemic in Japan [E-COCO-J]）実施（通年）
- 18) 東京大学システムティックレビュー・メタアナリシス班メンバーとしてシステムティックレビューを共同で実施（通年）
- 19) 東京大学と母親のメンタルヘルスを向上させるインターネットベースの無作為比較試験を実施（通年）
- 20) 東京大学と女性労働者の困難とストレスに関する共同研究を実施（通年）
- 21) 企業向けハラスメント対策のコンサルティングや教育・研修ツールを監修（通年）

## 6 講演、放送

- 1) (株)クオレ・シー・キューブ ウェビナー「パワーハラスメントが発生する職場・しない職場～エビデンスに基づいたパワハラ対策～」2020年7月

- 2) 日本生産性本部 オンラインセミナー「データで見るハラスメントの要因と影響  
ハラスメント防止・対策セミナー～再発防止に向けた取り組みを考える～」2020年9月
- 3) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 精神保健学Ⅱ講義「職場のいじめとメンタルヘルス」2020年10月
- 4) 東京大学職場のメンタルヘルス専門家養成プログラムイブニングセミナー 講演「職場のメンタルヘルスの専門家としてハラスメント問題に対応する」2020年10月
- 5) 横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 臨床計量学講義「質問票の翻訳」2020年10月
- 6) 厚生労働省過労死等防止対策推進シンポジウム（福井会場）講演「パワハラを発生させない職場づくり～パワハラ防止法のその先に～」2020年10月
- 7) 厚生労働省過労死等防止対策推進シンポジウム（神奈川会場）講演「パワハラを発生させない職場づくり～パワハラ防止法のその先に～」2020年11月
- 8) 厚生労働省過労死等防止対策推進シンポジウム（東京中央会場）講演「パワハラを発生させない職場づくり～パワハラ防止法のその先に～」2020年11月
- 9) 厚生労働省過労死等防止対策推進シンポジウム（茨城会場）講演「パワハラを発生させない職場づくり～パワハラ防止法のその先に～」2020年11月
- 10) 相模原市役所「パワー・ハラスメントが起こる職場の特徴と防止対策～最近の動向を交えて～」2020年11月
- 11) 浜松医科大学 安全衛生講演会・学校保健講演会 講演「科学的根拠に基づくハラスメント 対策とメンタルヘルス対策」2020年11月
- 12) 慶応義塾大学 産業保健心理学講義「職場のいじめ・ハラスメントとメンタルヘルス」2020年12月
- 13) 未病産業研究会 公衆衛生学入門講座「健康行動科学」2021年3月
- 14) 神奈川県労働福祉協会 職場のハラスメント防止対策講座 職場環境改善編「科学的根拠をもとに進めるハラスメント対策 従業員のパフォーマンス向上のためにできること」2021年3月

## 7 学会等での活動

(教育講演)

- 1) 第28回日本産業ストレス学会「職場のハラスメントをめぐる最新の動向」, 2020年12月
- 2) 日本産業衛生学会関東地方会第292回例会「職場におけるハラスメント防止対策～研究者の立場から～」, 2021年2月

(シンポジウム)

- 3) 第27回日本行動医学会 教育研修委員会企画シンポジウム「これからの行動医学の教育研修：過去から未来へ」, 2020年12月
- 4) 第27回日本行動医学会 若手の会セミナー「若手よろず相談会 part.2 ～コロナに負けるな！リモートで悩みを共有・解決しよう！～」, 2020年12月
- 5) 日本産業精神保健学会 心理職部会シンポジウム「これからのパワハラ対策ーパワハラ的一次予防、二次予防、三次予防ー」, 2021年2月

(学会発表)

- 6) 津野香奈美, 川上憲人, 堤明純, 島津明人, 井上彰臣, 吉川徹, 小田切優子, 下光輝一. 職場のハラスメントの経済損失: 疾病休業・労働生産性・離職の観点から. 第 93 回日本産業衛生学会, 2020 年 5 月
- 7) 佐々木那津, 津野香奈美, 日高結衣, 安藤絵美子, 浅井裕美, 櫻谷あすか, 日野亜弥子, 井上嶺子, 今村幸太郎, 渡辺和広, 堤明純, 川上憲人. 女性労働者の就労上の悩みと期待する職場での介入研究に関するインターネット調査. 第 93 回日本産業衛生学会, 2020 年 5 月
- 8) 渡辺和広, 川上憲人, 津野香奈美. 労働者の属性、健康関連アウトカム、および心理社会的要因を用いた職場のいじめの検出:機械学習を適用した横断研究. 第 93 回日本産業衛生学会, 2020 年 5 月
- 9) 川上憲人, 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 今村幸太郎. 新型コロナウイルス感染拡大下のテレワーク勤務者におけるオンラインコミュニケーションと職場の支援および心理的ストレス反応. 第 36 回日本ストレス学会学術総会, 2020 年 10 月.
- 10) 飯田真子, 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 川上憲人. 新型コロナウイルス感染症に関連した職場のハラスメントの頻度と関連要因の検討: 労働者コホート研究. 第 28 回日本産業ストレス学会, 2020 年 12 月
- 11) 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 川上憲人. 企業における新型コロナウイルス感染症対策が従業員のメンタルヘルスと仕事のパフォーマンスに与える影響. 第 28 回日本産業ストレス学会, 2020 年 12 月
- 12) 川上憲人, 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 今村幸太郎. 新型コロナウイルス感染拡大下のテレワーク勤務者におけるオンラインコミュニケーションと職場の支援および心理的ストレス反応. 第 28 回日本産業ストレス学会, 2020 年 12 月
- 13) 柳沼梢, 津野香奈美, 吉益光一, 齋藤長徳, 笠原賀子, 仲井邦彦. 管理栄養士・栄養士のストレス状況に関する横断調査. 日本衛生学会学術総会, 2021 年 3 月

(座長)

- 14) 第 28 回日本産業ストレス学会 産業心理職委員会企画シンポジウム「マネージャーの主体的朗働～部下と共に元気な組織を作る～」, 2020 年 12 月

## 8 学内教育活動

- 1) 健康行動科学 (ヘルスイノベーション研究科, 科目責任者)
- 2) 社会健康学・社会疫学 (ヘルスイノベーション研究科, 科目責任者)
- 3) 産業保健学 (ヘルスイノベーション研究科, 講義を 7 回担当)
- 4) ヘルスイノベーション演習基礎 (ヘルスイノベーション研究科)
- 5) 修士論文指導 6 名 (指導教員 2 名、副指導教員 4 名)

## 9 学内各種委員会活動

- 1) ヘルスイノベーション研究科研究倫理審査会委員 (通年)
- 2) ヘルスイノベーション研究科企画担当委員 (通年)
- 3) ヘルスイノベーション研究科学生担当委員 (通年)
- 4) ヘルスイノベーション研究科面接委員 (一次選考)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 2019～2021 年度日本学術振興会 科学研究費補助金 若手「労働時間や職場風土と従業員の健康・生産性との関連：職場外要因を含めた複合的検討」(課題番号：19K19439) 研究代表者